



22年8月号 (広告)  
 2010年8月1日発行  
 中国税理士会 倉敷支部会員 三宅孝治  
 三宅税理士事務所  
 (株)シーエムエス  
 倉敷市中島2370番地14  
 TEL 086-466-1255  
 FAX 086-466-1288  
 第39号  
 発行担当者: 高木 麻衣

夏本番! ということで暑い日が続いていますが、皆様 暑さに負けてはいないでしょうか? 夏らしい食べ物・・・楽しい行事・・・などありますので、暑さに負けずに「夏」を楽しんでみてはいかがでしょうか! さて、先月号のテーマは「資金繰り」でした。 資金繰り表は作成されてみたでしょうか? 先月号で「資金繰り=キャッシュの管理」を取り上げました。 今月は「キャッシュ・フロー=キャッシュの収支(流れ)」についてです。

テーマ: **キャッシュ・フロー計算書**

1. 「**キャッシュ・フロー計算書**」とは?

まずはじめに、**キャッシュ**とは「現金および現金同等物」のことです。  
 現金・・・手元現金・普通預金・当座預金・通知預金  
 現金同等物・・・容易に換金でき、価格変動リスクの少ない短期投資のことで、短期の定期預金など  
**キャッシュ・フロー**とは、キャッシュの収支(流れ)のこと、そして、**キャッシュ・フロー計算書**とは、企業の一会計期間におけるキャッシュの増減、つまり収入と支出の状況を明示した計算書です。企業が営む事業活動の種類ごとに、区分して把握し、その内容を表示しています。具体的には、営業活動・投資活動・財務活動の三区方式が採用されています。



活動区分の内容としては、

- ・営業活動・・・主たる営業活動(本業)による、「営業収益・費用の対象となった取引」、「投資・財務活動以外の取引」
- ・投資活動・・・「有価証券・投資有価証券の取得支出・売却収入」、「有形・無形固定資産の取得支出・売却収入」など
- ・財務活動・・・「借入金の借入収入・返済支出」、「社債の発行収入・償還支出」、「株式の発行収入・買入支出」など

2. 「**キャッシュ・フロー計算書**」は企業の新しい成績表

キャッシュ・フロー計算書に表わされた情報を分析することによって、企業の戦略や活動状況を読みとることが出来ます。具体的に言うと・・・「キャッシュ残高」、「業績」、「財務構造の変化」、「支払能力」、「投資活動」など、企業が生き残っていくために、最も重要となるキャッシュ・フローを生み出す能力について評価することができます。



- ・貸借対照表: 企業の財政状態を表わす(資産-負債=純資産)
  - ・損益計算書: 企業の利益による経営成績を表わす(収益-費用=利益)
  - ・キャッシュ・フロー計算書: 企業のキャッシュフローによる経営成績を表わす(期首キャッシュ残高+期中キャッシュ増減額=期末キャッシュ残高)
- キャッシュ・フロー計算書の登場で、これまで見えなかったキャッシュの増減が明らかとなったのです。

3. 「**直接法**」と「**間接法**」

キャッシュ・フロー計算書の作成方法には、**直接法**と**間接法**の2つがあります。  
 ・直接法・・・営業収入、仕入のための支出等、主要な取引ごとにキャッシュ・フローを総額で表示する方法  
 ・間接法・・・当期純利益を出発点として、非資金取引などの一定の調整を行うことにより、期中におけるキャッシュの増加・減少を間接(逆算)的に明示する方法



直接法・間接法の長所・短所の比較

	長 所	短 所
直接法	・営業活動によるキャッシュ・フローが総額で把握できる。 ・主要な取引ごとのキャッシュ・フローが把握できる。 ・内部管理の為のキャッシュ・フロー分析の基礎資料を入手しやすい。	・主要な取引ごとの処理が必要となり、手間やコストがかかる。
間接法	・税引前利益とキャッシュとの関係が明示される。 ・作成が比較的簡単で、手間がかからない。	・入出金の総額が分からない。

< **将軍の目** >

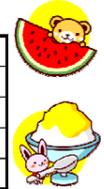
毎月開催中の**利益計画書作成セミナー: 「将軍の日」**。今月の開催日は**8月19日(木)**です。昨年将軍の日に来られたお客様で、今年も将軍の日にお越し頂いている方もおられます。まだ将軍の日にお越し頂いていないお客様、一度将軍の日に参加してみませんか?



**< 夏期休暇のお知らせ >**  
 勝手ではございますが下記の通り、弊社のリフレッシュ休暇を頂きます。ご不便、ご迷惑等をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。リフレッシュ後は、更にお客様のお役に立てますよう、全力投球させていただきます。  
**8月12日(木)~8月16日(月)**

**< 8月スケジュール >**

10	火	*7月分源泉所得税・住民税特別徴収額の納付期限
19	木	*利益計画書作成セミナー: 将軍の日
31	火	*6月決算法人の確定申告・納付期限
		*12月決算法人の中間申告・納付期限
		*個人事業税の納付(第1期分)



4. **キャッシュ・フロー計算書を作成してみましょう**

右記に載せてあるのは**間接法**でのキャッシュ・フロー計算書です。まず初めに「当期純利益」がきます。以下は、各項目での増減を記入していきます。金額の表示方法はキャッシュの増加は無印で、キャッシュの減少はマイナス(- or )で表示します。各項目に記入できたら、「期首残高」に「増減額」をプラス又はマイナスして「期末残高」を計算します。

5. **キャッシュ・フロー分析**

3つの活動に分かれており、各々が独立して行われるというよりも、**密接に相互関連し合っている**ということに注意が必要です。キャッシュ・フロー分析の基本は、3つの活動別に、どの活動からプラス又はマイナスのキャッシュが、どの程度創出されているのかを把握することです。キャッシュ・フロー計算書は、企業のキャッシュ創出能力を評価するのに有用な情報を提供するものです。企業が一定期間において営業活動からどれだけのキャッシュを獲得し、そのうちどれだけ投資活動に振り分けて効率的に運用し、それらの活動に過不足となるキャッシュを、財務活動によりどのように調達・返済することで調整したのかを分析します。

3つの活動で最も重要であり、分析の柱になる「**営業キャッシュ・フロー**」と、「**投資・財務キャッシュ・フロー**」との相対的なバランスを分析することがポイントとなります。すなわち、**営業キャッシュ・フローの安定的な確保・最大化**とともに、その**効率的な活用**が目標とされます。

**営業キャッシュ・フロー**

銀行などの外部者に頼らずに、自己の力によってどの程度のキャッシュを主たる営業活動から獲得したか、つまり企業のキャッシュ創出能力に関する現在の企業の実力を示しています。  
 < **プラスの場合** >・・・企業が主たる営業活動から(大幅な)キャッシュを確保できたということを意味し、企業が(高い)キャッシュ創出能力や債務返済能力などがあることを示しています。  
 < **マイナスの場合** >・・・企業のキャッシュ創出の最大の源泉であるべき主たる営業活動がプラスのキャッシュを確保できず、反対に支出超過の状況にあることを意味し、長期的にこの状況が続くのであれば、少しずつ体力が衰え、やがては債務の履行が行えず、借入などにより資金調達ができなくなった時点で倒産に至ることになります。



**投資キャッシュ・フロー**

将来の利益を獲得するために、どの程度の資金を投下し、それを回収したかを示すものです。注意すべきことは、プラスだからといって、戦略的企業経営という全体的な観点からすれば、必ずしも良いことではないですし、反対にマイナスだからといって必ずしも悪いことではないということです。長期的に企業が成長を続けるという長期の戦略的経営の観点から個々のケースごとに判断しなければなりません。

**財務キャッシュ・フロー**

営業及び投資活動を維持するために、どのように資金が調達され、返済されたかを示します。営業及び投資キャッシュ・フローの過不足を調整する機能を果たし、特に資金不足が生じたとき、企業存続のために極めて重要な役割を果たします。資金不足の状況において、銀行からの借入などができない場合には、不渡手形などにより企業が倒産する可能性があるからです。また、無借金経営を理想の姿とする場合には、マイナスの方が良いでしょう。ただし、借入を行って積極的に投資を行い、その借入金利息よりも高い収益を上げられる場合には、プラスであることが悪いこととは言えない点に注意が必要です。反対に、営業不振で手許のキャッシュ・フローに困り、借入を増加させてのプラスは悪い形です。

以上、キャッシュ・フロー計算書についてお送りしてきましたが、簡便なものであり、実際には個々の企業により状況異なります。お客様ごとに項目・分析等、違ったキャッシュ・フロー計算書になりますので、担当者にお気軽にお問い合わせください。

参考 「キャッシュ・フロー計算書の読み方・作り方」 岩崎 勇  
 「わかりやすいキャッシュ・フロー計算書」 吉木 伸彦・福田 武彦・木村 為義

< **インターンシップ** >

今年も倉敷商業高校からご依頼があり、7月26~28日に高校2年生2名に、3日間の職場体験に来て頂きました。職場体験という事ですが、税理士法の守秘義務遵守の為、学生の方には 研修室や会議室での研修で、弊社にて作成したテキストによる実務研修を行わせて頂くなど、情報保護には万全を心掛けております。地域社会への心地よさの創造という弊社の経営理念の下、可能な限りの 貢献を行っていきたくと考えておりますので、皆様のご理解とご協力の程 宜しくお願いたします。

初日はとても緊張していたのですが、職場の皆さんはとても明るく、親切な方でしたので、助かりました。所長から仕事の目的や考え方のお話をして頂いたりもして、とても勉強になりました。2日目以降には、仕事の一部を社員の方に教えて頂いて、「実践と勉強では、かなり違って来るものなんだ。」ということが改めて分かりました。3日間、インターンシップに行かせて頂いたのですが、内容が内容ですので、あまり仕事のお手伝いが出来なかったのが、少し残念です。でも、このインターンシップを通して学んだことは大きく、今後の人生の為になるものばかりでした。ですので、とても充実した3日間を過ごすことができました。受け入れて下さったことに、本当に感謝しています。 高見 宗太郎



お忙しい中、インターンシップの実習として、接客マナーや税理士のお仕事についてご指導頂き、ありがとうございます。今までに勉強してきた事とは違い、実際にする事はとても難しいものでした。社会は甘くないということを改めて学ぶことができました。お辞儀をする時も、指先に力を入れるということは学校では教わりませんでしたし、声も小さいと注意をされ落ち込むこともありました。しかし、今、身に付けておくことは将来に良い影響を与えるので、注意されたことを思い出しながら練習していきたいと思っています。本当にありがとうございます。 武野 千春